

函館市医療・介護連携推進協議会
多職種連携研修作業部会 第15回会議

日時：令和4年3月2日（金）19：00～

開催方法：ウェブ開催

【次第】

1 開 会

2 議 事

○報告事項

- 1, 令和3年度 多職種連携研修計画 実施報告（資料1・2）
- 2, センターホームページ「コラム」の掲載について
- 3, 研修情報の一元化と提供について（資料3）

○協議事項

- 1, 令和4年度 多職種連携研修計画（案）（資料4・5・6・7・8・9）

3 その他

4 閉 会

【配付資料】

資料1 報告事項

資料2 令和3年度 多職種連携研修計画実績表

資料3 ホームページ上で掲載した研修情報一覧（令和3年4月～令和4年2月）

資料4 協議事項

資料5 令和4年度 多職種連携研修計画（案）

資料6 令和3年度 医療関係者向け研修 分析・考察

資料7 令和3年度 介護関係者向け研修 分析・考察

資料8 令和3年度の研修（要望まとめ）

資料9 第6回 函館市医療・介護連携多職種研修会 分析・考察

函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会
第15回会議 出席者名簿

※★…部会長および副部会長 ○…幹事

(敬称略)

分野	所属団体	氏名	勤務先等
医療	公益社団法人 函館市医師会	○幹事 近藤 純香	函館市医療・介護連携支援センター
	一般社団法人 函館歯科医師会	川村 曜輔	カワムラ歯科クリニック
	一般社団法人 函館薬剤師会	★副部会長 水越 英通	(株)はこだて調剤薬局昭和店
	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	渡邊 渉	医療法人徳洲会 共愛会病院
	道南在宅ケア研究会	川口 篤也	医療法人道南勤労者医療協会 函館稜北病院 副院長
	函館地域医療連携実務者協議会	船山 俊介 ※欠席	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 法人内・法人外連携推進担当課長
	一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部	阿部 綾子 ※欠席	医療法人社団 函館脳神経外科病院
	北海道柔道整復師会函館ブロック	山本 康文	山本整骨院
	函館鍼灸マッサージ師連絡協議会	益井 基	益井東洋治療院
介護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	渡部 良仁	居宅介護支援事業所 アニー
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	京谷 佳子	函館市地域包括支援センター ゆのかわ
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	★部会長 寺田 昌弘	社会医療法人仁生会 西堀病院
	道南訪問看護ステーション連絡協議会	白川 直子	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 在宅療養支援室 訪問看護係
	道南地区老人福祉施設協議会	齋藤 禎史	特別養護老人ホーム シンフォニー

○報告事項

1. 令和3年度 多職種連携研修計画 実施報告（資料2）

（1）相互理解の促進

①医療関係者向け研修会（動画公開）

（ア）テ ー マ：「介護サービスの概要と役割（医療と介護の連携）」

講 師： 医療法人社団函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所

管理者・主任介護支援専門員 宮城 智美 様

公開期間：令和3年5月26日～6月18日

閲覧人数：580名（申告人数）

アンケート件数：135件

（イ）テ ー マ：「介護サービスについて

～居宅サービスと看護小規模サービスの違い～」

講 師：SOMPOケア函館昭和 居宅介護支援

管理者 加藤 由美 様

公開期間：令和3年10月25日～11月14日

閲覧人数：392名（申告人数）

アンケート件数：137名

②介護関係者向け研修会（動画公開）

テ ー マ：「症状から何が考えられるか？介護関係者に伝えたい事」

講 師：たかさわ糖尿病内科クリニック 院長 高澤 宏文 様

公開期間：令和3年10月4日～10月22日

閲覧人数：517名（申告人数）

アンケート件数：179名

③オープンカンファレンス

新型コロナウイルスの感染状況により未開催

④研修会等コーディネート

- ・各関係団体窓口一覧の更新 8月17日更新内容掲載済み
- ・各関係団体窓口一覧の作成に関する規定について、標題の一部変更・挿入文一部追加

(2) 連携強化

①看取り

(ア) 第6回函館市医療・介護連携多職種研修会

テーマ：「在宅・施設・病院それぞれの多職種によるACPの在り方」

【座長】

医療法人 道南勤労者医療協会函館稜北病院

副院長 総合診療科科長 川口 篤也 先生

【シンポジスト】

訪問看護ステーションフレンズ 所長 保坂 明美 様

特別養護老人ホーム旭ヶ岡の家

生活相談員・介護支援専門員 南部 雄一 様

市立函館病院 緩和ケア科科長 山崎 裕 先生

日時：令和3年10月16日 14:00～17:00

参加申し込み数：189名 当日参加人数：145名

アンケート件数：67名

(イ) 施設看取りへの支援

- ・施設看取りの事例報告会

新型コロナウイルスの感染状況により、未開催

(ウ) 在宅看取りへの支援

- ・在宅看取りの事例報告会

新型コロナウイルスの感染状況により、未開催

②入退院支援

(ア) 『はこだて入退院支援連携ガイド』活用促進研修会

(退院支援分科会主催)

新型コロナウイルスの感染状況により、未開催

(イ) 『入退院支援連携強化研修会』

(情報共有ツール作業部会主催)

新型コロナウイルスの感染状況により、未開催

③急変時対応(急変時対応分科会実務者会議 主催)

『急変時対応研修会』 *動画公開へ変更

【座長】

函館中央病院 事務次長 総合医療支援センター副センター長

亀谷 博志様

【シンポジスト】

市立函館病院 医療連携担当課 退院支援係長 荒木 英世様

高橋病院 医療福祉相談・地域連携室 室長 石井 義人様

函館市地域包括支援センターたかおか 施設長 松野 陽様

公開期間：令和3年7月12日～8月7日

閲覧人数：621名（申告人数）

アンケート件数：133件

(3) 多職種連携の専門性の向上

函館市における多職種連携への理解の促進（出張講座の実施）

(4) 人材育成

センター主催研修会への見学参加（各医療・介護系の学校への案内）

2. センターホームページ「コラム」の掲載について

(1) 令和3年7月～認定看護師の役割について、2か月毎コラム掲載中

がん放射線療法看護認定看護師 5月 6日掲載

摂食・嚥下障害看護認定看護師 7月26日掲載

クリティカルケア認定看護師 9月 6日掲載

皮膚・排泄ケア認定看護師 11月 1日掲載

認知症看護認定看護師 令和4年1月4日掲載

慢性心不全看護認定看護師 令和4年3月掲載予定

(2) 第6回函館市医療・介護連携多職種研修会 講師のコラム

「多職種によるACPの在り方」令和4年1月24日掲載

3. 研修情報一元化と提供について（資料3）

令和3年4月～令和4年2月掲載分

他団体主催・共催 9件

ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター主催・共催 3件

函館市医療・介護連携支援センター主催・共催 7件

【令和3年度 多職種連携研修計画実績表】

目的（テーマ）	内容	形式				定員	時期
		規模（会場）	形態	対象者	レベル		
(1) 相互理解の促進	① 医療関係者向け研修 『介護サービスの概要と役割（医療と介護の連携）』 講師：医療法人社団函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員 宮城 智美 様		動画にて講義	医療関係者 (介護関係者も閲覧可能)	初級～中級		5月26日～6月18日 まで公開（終了）
	『介護サービスについて ～居宅サービスと看護小規模サービスの違い～』 講師：SOMPOケア函館昭和 居宅介護支援 管理者 加藤 由美 様		動画にて講義	医療関係者 (介護関係者も閲覧可能)	初級～中級		10月25日～11月14日 まで公開（終了）
	② 介護関係者向け研修 『症状から何が考えられるか？介護関係者に伝えたい事』 講師：たかさわ糖尿病内科クリニック 院長 高澤 宏文 様		動画にて講義	介護関係者 (医療関係者も閲覧可能)	初級～中級		10月4日～10月22日 まで公開（終了）
	③ オープンカンファレンス	中規模	対話体験（事例報告）	医療・介護関係者	初級～上級	100名程度	コロナの状況により未開催
	④ 研修会等コーディネート 各関係団体窓口一覧の内容変更の有無を確認 更新						8月17日更新済み
(2) 連携強化	① 看取り (ア) 第6回函館市医療・介護連携多職種研修会 『在宅・施設・病院それぞれの多職種によるACPの在り方』	大規模	シンポジウム ウェブにて開催	医療・介護関係者	中級～上級	200名程度	10月16日（土）（終了）
	(イ) 施設看取りへの支援 『施設等での看取りケアの事例報告』*各団体との共催	小規模	事例報告形式	介護関係者	中級～上級		コロナの状況により未開催
	(ウ) 在宅看取りへの支援 『在宅看取りの事例報告』	小規模	事例報告形式	介護関係者	中級～上級		コロナの状況により未開催
	② 入退院支援 「はこだて入退院支援連携ガイド」活用促進 「はこだて医療・介護連携サマリー」活用促進 ※各団体・機関との共催、退院支援分科会・情報共有ツール作業部会との協働	小規模	事例検討・GW	実務者	中級～上級		コロナの状況により未開催
	③ 急変時対応（急変時対応分科会実務者会議主催） 『急変時対応研修会』		パネルディスカッション 動画にて配信	医療・介護関係者	中級～上級		7月12日～8月7日 まで公開（終了）
(3) 多職種連携の 専門性の向上	函館市における多職種連携への理解の促進 ※各団体・各機関との共催	小規模	座学講義 講師：センター職員	医療・介護関係者	初級～中級	30名程度	随時
(4) 人材育成	センター主催研修会への見学参加 ※各医療・介護系の学校への案内		動画にて講義	医療・介護学生 (教員)	未経験者	数名	随時

ホームページ上で掲載した研修情報一覧（令和3年4月～令和4年2月）

月	研修名称（団体名）	件数
5月	第168回 国立函館病院合同教育講座 『日本人COPD患者の特徴とグローバルデータの読み方』 (国立病院機構函館病院)	2件
	第64回 北海道医療ソーシャルワーク学会北海道医療ソーシャルワーカー協会 『パンデミック時代のソーシャルワーク』 (北海道医療ソーシャルワーカー協会)	
6月	令和3年度 第1回研修会 函館鍼灸マッサージ師連絡協議会 『鍼灸院・マッサージ院が医療機関に関わる上で大切なこと』 (函館鍼灸マッサージ師連絡協議会事務局)	1件
7月	市民公開講座 『お灸で健康づくり』～家庭でできるやさしいお灸～ 函館視力障害センター	1件
8月	第5回 国立函館病院循環器疾患地域連携推進フォーラム 『フォーラム立ち上げとこれまでの経緯～効果的に地域と協働するために』 『心不全の薬物治療の動向と利尿剤の使い方』 (国立病院機構函館病院)	1件
9月	南渡島地域包括緩和ケアネットワークWEB講演会 『がんの痛みのマネジメント～NSAIDsからオピオイドまで～』 (南渡島地域包括緩和ケアネットワーク)	2件
	令和3年度 南渡島地域看護職員研修 『看護をつなぐ～看護列車を切らさない～』 (北海道渡島総合振興局保健環境部保健行政室)	
12月	2021年度 北海道地区オンライン床ずれセミナー 『チームで共有する要因から解決する床ずれ予防対策』 (日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会)	1件
1月	第43回函館五稜郭病院カンサーボード 『領域別症例報告/健康診断追跡報告』 (函館五稜郭病院)	1件

(その他) ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター 主催・共催研修会 3件
函館市医療・介護連携支援センター 主催・共催研修会 7件

○協議事項

1, 令和4年度 多職種連携研修計画（案）

(1) 医療・介護関係者向け研修について（資料5・6・7・8）

- ① テーマ
- ② 講師
- ③ 対象者
- ④ 研修形態

(2) 大規模研修会について（資料9）

- ① テーマ
- ② 講師
- ③ 方法
- ④ 研修形態・内容
- ⑤ 代替え案

令和4年度 多職種連携研修計画（案）

（1）相互理解の促進（資料6・7・8）

①医療関係者向け研修

- ・形 態：動画研修
- ・日 時：令和4年4月講師依頼，5月原稿作成，6月撮影・動画作成
7月案内・公開予定
- ・対象者：医療関係者 *介護関係者にも案内配布する
- ・テーマ
（案1）認知症等で判断能力が不十分になった方のための支援の仕組みについて
成年後見制度，日常生活自立支援事業など
講 師：未定
（案）函館市成年後見センター，社会福祉士事務所など

- （案2）退院後の在宅生活を送る上での環境整備について
福祉用具貸与，特定福祉用具販売，住宅改修
講 師：未定
（案）福祉用具貸与・特定福祉用具販売事業所

②介護関係者向け研修

- ・形 態：動画研修
- ・日 時：令和4年4月講師依頼，5月原稿作成，6月撮影・動画作成
10月案内・公開予定
- ・対象者：介護関係者 *医療関係者にも案内配布する
- ・テーマ
（案1）薬剤師
居宅サービス（調剤薬局）で行える薬に関する薬剤師の役割
講 師：未定
（案2）言語聴覚士
嚥下機能を踏まえた注意点，リハビリについて
講 師：未定

③オープンカンファレンス

新型コロナウイルスの感染状況をみて，検討

④研修会等コーディネート

各関係者団体へ連絡・確認：6月に確認書類 配布
*医療・介護各関係団体窓口一覧の内容の確認，更新

(2) 連携強化(資料9)

①大規模研修会

- ・日 時：令和4年9月10日(土) 14時～17時
- ・場 所：国際ホテル
- ・形 態：シンポジウム, グループワーク
- ・対象者：医療関係者, 介護関係者
- ・座 長：函館稜北病院 川口篤也先生
- ・テーマ

(案) 8050問題の事例を通じ, 多職種連携の必要性を考える
～医療と福祉の連携と協働を強化するために～

目 的

1. 8050問題の実際を知る
2. 8050問題の事例から, 多職種連携の必要性を理解する
3. 明日から自職種で何ができるかを考える事ができる

- ・方 法：集合開催

- ・内容

①報告・ディスカッション

(案) 8050問題で多職種がどのように連携したかの報告

例) 1 ケース：包括→居宅→医師→〇〇→〇〇→〇〇

例) 1 ケース：包括→居宅→医師

例) 2 ケース：包括(1) / 居宅(1) / 医師(アドバイザー)

②GW

(案) 報告の事例をもとに自職種では何ができるか, 連携をとるにはどうしたら
いいのかが等を議論してもらい発表してもらう
(講師の方々への質問も含めて)

- ・講 師：未定
- ・代替え案：オンライン形式へ変更

②入退院支援

『はこだて入退院支援連携ガイド』活用促進研修会(退院支援分科会主催)

『入退院支援連携強化研修会』(情報共有ツール作業部会主催)

*新型コロナウイルスの感染状況をみて, 各部会・分科会にて開催検討

③急変時対応(急変時対応分科会実務者会議主催)

*新型コロナウイルスの感染状況をみて, 開催検討

(3) 多職種連携の専門性の向上

①函館市における多職種連携への理解の促進

- ・出張講座メニューの追加・更新及び各関係団体へ周知・案内の継続

(4) 人材育成

① センター主催研修会への見学参加

- ・市内の医療系・福祉系の教育機関に研修案内・出前講座を継続する
- ・出前講座メニューの追加・更新及び各教育機関への周知・案内の継続

令和3年度 医療関係者向け研修 分析・考察

テーマ：「介護サービスについて

～居宅サービスと看護小規模サービスの違い～

目的：○利用までの流れを知る事ができる

○利用するにあたっての、アセスメントを知る事ができる

○医療機関との連携を知る事ができる

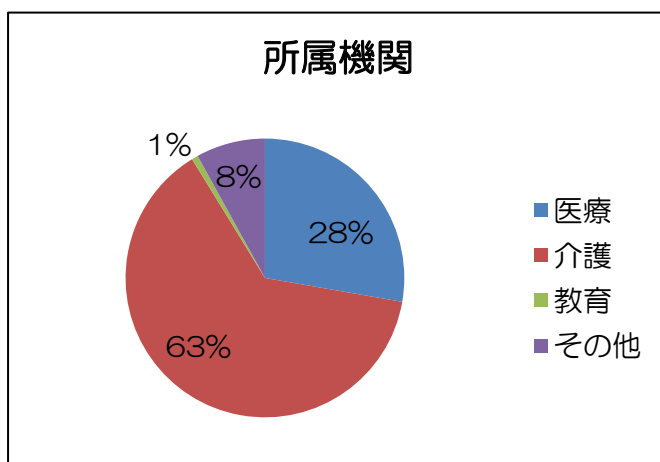
【アンケート内の意見】

- ・サービスは同じでもメリット・デメリットがあることが分かり、どのサービスを使うとよいのか勉強になりました。
- ・居宅サービスと看護小規模サービスの違いについて、契約からの流れや費用の違いなど理解が深まった
- ・解りやすく研修して下さりありがとうございました。それぞれにメリットとデメリットがあり、どのように家族様と関わっていかうか再確認が出来ました。

【分析・考察】

参加者の内訳は、医療機関28%、介護機関63%であった。職種をみると、医師や歯科医師、柔道整復師や福祉用具関連など様々な職種からの参加があった事から、医療介護関係者にかかわらず、介護サービスを知りたい思いがあるのではないかと考える。特にこの機関に参加して欲しいという目的ではなく、サービスを知ってもらう事を目的としていた為、目的は達成していると考え。しかし、医療機関の参加率は高くはない為、興味をもってもらえるテーマを今後も考えていく必要がある。

今後の研修の要望としては、事例紹介と対応、介護サービスについての意見が多かった。身寄りがない方や認知症などの困難事例を聞き、どのように連携していくか、また介護サービスについては、知っているようで知らない事があり再確認もできる為、それぞれの役割を知り介護がイメージできるようなテーマを検討する必要がある。



令和3年度 介護関係者向け研修 分析・考察

テーマ：「症状から何が考えられるか？介護関係者に伝えたい事」

目的：○観察ポイントを知る事ができる

○状態報告の仕方など医療との連携について知る事ができる

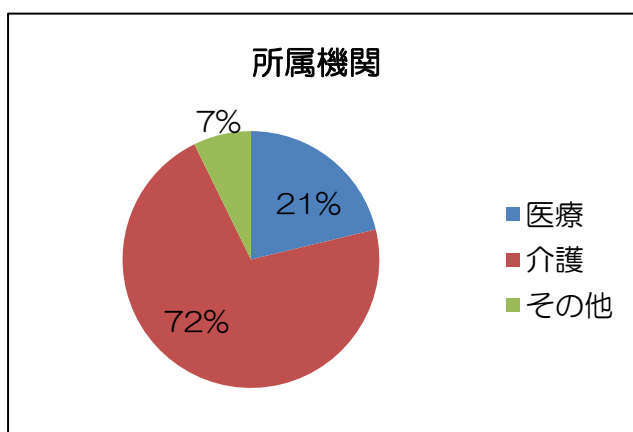
【アンケート内の意見】

- ・医療系には自信がなく、定期訪問の際に利用者様の様子について、もっと気づきを意識していかなければと思いました。
- ・見落としがちな日常生活での観察意欲の向上になりました。
- ・鍼灸師・マッサージ師として高齢者に関わる事が多く、動画の内容は日々直面するものばかりでした。問診・望診から疑うべき疾患、レッドフラッグについて勉強していますが、この動画はまさに知りたい内容の一部でした。
- ・日々対応している利用者の観察ポイントを具体的に医者視点と介護側の視点両方から話が聞けた。
- ・多職種でのチームワークの重要性を再確認できました。

【分析・考察】

参加者の内訳は、介護機関72% 医療機関21%となっており、テーマとして主な対象者に閲覧してもらう事ができた。目的についても、日常生活の中から観察して連携する重要性についての意見があり、理解が深まったかについては、92%が深まったと回答しており、目的は達成できたと考える。

今後の研修の要望としては、疾患に関する事が多く、在宅でのリハビリ、口腔ケアや食事摂取、水分摂取低下が問題になる事が多く、嚥下機能についてなどが挙げられた。また、治療方法（薬など）の注意事項などの治療についての希望が多い。医療・介護の連携については、介護・医療関係者のどちらからも意見があり、疾患等でのケアのポイントに加えて、どのような連携が必要かを盛り込めるようなテーマを検討する必要がある。



令和3年度の研修（要望まとめ）

■医療関係者向け

【事例紹介と対応が知りたい】

- 1 色々な事例のケースがあると思いますので、教えて頂けたらと思っております。
(介護事業所・相談員・管理者)
- 2 自宅介護での問題点や困難事例などの取り組み方 (介護事業所・ケアマネ)
- 3 受診拒否の方への支援方法 (介護事業所・ケアマネ)
- 4 寝たきりの患者様の在宅療養について、ごみ屋敷の人の対応、身寄りなしの人の対応（具体的に） (医療機関・看護師)

【介護サービスの違いについて知りたい】

- 1 今回の資料の最後にありました様々なサービスの違いや施設名称による違い（住宅型有料老人ホーム，地域密着型特定施設入居者生活介護，介護予防・特定施設入居者生活介護など）を学べたらと思っています。
(医療機関・相談員)
- 2 医療系サービス編 (介護事業所・ケアマネ)
- 3 知っているようで知らない事も多いです，再確認のできる事や，介護は色々な事業所も多い為，それぞれの役割があることをもっと勉強させて頂きたいと思っております。
(介護事業所・相談員・管理者)
- 4 知っているようで知らないこと，知ると得する知識 (介護事業所・ケアマネ)

【医療・介護連携について知りたい】

- 1 難病関係の支援における医療・介護連携について (介護事業所・ケアマネ)
- 2 在宅から入院，入院から在宅，在宅で通院といった場面での連携に関わる研修があればまた参加したいです。
(介護事業所・ケアマネ)
- 3 医療と介護の多職種研修会と銘打っているのであれば，入院から退院までの間にとのようにケアマネや病院の相談員が連携しているか，それ以外の機関とどのように繋がっているかなど知りたい。
(介護事業所・社会福祉士)

【認知症について知りたい】

- 1 認知症の独居高齢者 (介護事業所・ケアマネ)
- 2 認知症が進むにつれて，後見人やリビング・ウィルなど認知症の症状とその進行に合わせ必要になることを準備できるような内容が個人的にはいいかと思っております。
(医療機関・薬剤師)
- 3 認知症などに対する具体的な理解など勉強してみたい (介護事業所・ケアマネ)

【ターミナルケアについて知りたい】

- 1 ターミナルケアについての研修をお願いしたいです。
(介護事業所・看護師・介護職員・相談員)
- 2 DNARについて
(医療機関・鍼灸師・マッサージ師)

【介護技術について知りたい】

- 1 オムツなどの実務研修希望
(介護事業所・介護職員)

【緊急時について知りたい】

- 1 緊急時の支援（医療、介護連携）を深めたい。
(介護事業所・ケアマネ)

【薬剤師の役割について知りたい】

- 1 居宅サービスでおこなえる薬に関する薬剤師の役割もご理解いただける内容もぜひご検討ください。
(医療機関・薬剤師)

■介護関係者向け

【在宅医療・介護について知りたい】

- 1 在宅でのリハビリについて
(介護事業所・ケアマネ)
- 2 在宅では、食欲低下や水分量低下が問題になっている事が多いので、その点を掘り下げた勉強会を開催してほしいです。
(介護事業所・リハビリスタッフ)
- 3 おむつかぶれについて 褥瘡について予防と処置について
(介護事業所・看護師)
- 4 お客様との会話で不穏な感情の場合になった時の回避のしかたや言葉の使い方。失敗談があると自分も気を付けようと思える。服薬拒否の対応策。鬱の方には傾聴以外になにができるか。これをやったら、またはやった人がいて病やADLが良くなったという体験談。
(医療機関・鍼灸師・マッサージ師)
- 5 ACPやDNARについて
(救急隊員)
- 6 高齢者の口腔ケアの方法。特に拒否が強く歯磨きができない方への最善の対応を知りたい。
(介護事業所・介護職員)
- 7 医療機関における数値（心不全や血糖値など）を、一般介護職でも指標となるようなものがあれば非常にありがたいです。
(介護事業所・ケアマネ)
- 8 要支援者の自立支援について
(介護事業所・介護職員)
- 9 難病等知る機会があればいいと思います。特に ALS・脊柱管狭窄症等
(介護事業所・ケアマネ)

【疾患について知りたい】

- 1 パーキンソン病の対応や今後どのような変化になっていくか色々な介助のしかたを学びたいです。
(介護事業所・介護職員)
- 2 医療面など具体的に分かりやすく身近なものをお願いします。

- (介護事業所・ケアマネ)
- 3 骨粗鬆症の注射治療法をお願い致します。注射薬の種類や選択方法, 自己注射薬の
注意事項等 (介護事業所・ケアマネ)
- 4 心疾患等 (介護事業所・ケアマネ)
- 5 感染症について (介護事業所・介護職員)
- 6 統合失調症とうつ病について, 症状の違いで関わり方も違うと思うのですが, 何か
気を付ける事があれば聞きたい。尿カテーテル(膀胱瘻も含む)の取り扱い(尿破棄,
採尿バックの正しい位置, 観察事項など)についてお聞きしたい。
(介護事業所・介護職員)
- 7 感染対策などありがとうございます。 (介護事業所・介護職員)
- 8 糖尿病をもっと勉強したいので今後も継続の程, 宜しくお願い致します。
(介護事業所・介護職員)

【緊急時対応について知りたい】

- 1 高齢者緊急時対応 (介護事業所・介護職員)
- 2 容態変化時の対応や医療機関との連携・連絡の現状について。 (救急隊員)
- 3 打撲と骨折の一次判断方法, 危険な兆候・レッドフラッグの見極め方, 服薬中の薬
から見る注意事項などが知りたいです。同職種で定期的にカンファレンス・グループ
ワーク等を行っていますが, 多職種でそれを行う機会があるとそれぞれより日々の仕
事が深まると思います。 (医療機関・鍼灸師・マッサージ師)
- 4 いざという時(緊急時)の対応について (介護事業所・看護師)

【認知症について知りたい】

- 1 認知症について(特に精神状態の悪化を伴うもの) (介護事業所・ケアマネ)
- 2 精神科等以外の病院に認知症の疑いがある高齢者が外来で来た時に病院内でどの
ような対応をしているか。また電話が来た時にはどのような対応を行うのか講義して
もらいたい。 (介護事業所・ケアマネ)
- 3 認知症 (介護事業所・看護師)

【医療と介護の連携について知りたい】

- 1 退院後の患者様について, 医療と介護の連携を深めるにはどうしたらよいか。医
療側からの意見を知りたいです。 (介護事業所・管理者)
- 2 医師が介護機関についてどういう事を求めている, またはどのような風な連携があれ
ばよりいいのか, そういうような内容の研修があればいいなと思います。
(介護事業所・ケアマネ)
- 3 医療連携について (介護事業所・ケアマネ)

【様々な現場の仕事の動画が観たい】

- 1 医療介護連携の組織として、まだまだ他職種の事が分からない方が多いと思われます。今回の動画のように、様々な職種の現場の工作中的動画も見てみたいと思いました。
(医療機関・柔道整復師)
- 2 例えば、救急搬送された患者に居宅ケアマネがついていたとして、ケアマネと病院がどのように連携して退院調整などを行っているか、事例を基に動画で見せて欲しい。
(介護事業所・社会福祉士)

【コロナについて知りたい】

- 1 新型コロナウイルスに関するまん延防止等の研修会
(介護事業所・ケアマネ・相談員・介護職員・看護師)

【コンプライアンスについて知りたい】

- 1 コンプライアンス倫理
(介護事業所・ケアマネ)

【日々の仕事に役立つ知識が知りたい】

- 1 今回のような具体的で日々の仕事にすぐ役立つような知識となる研修会を希望します。
(医療機関・鍼灸師・マッサージ師)

【ICT活用について知りたい】

- 1 メディカなどのICT活用について、居宅介護支援事業所でも必要性を感じているので、現在の利用状況や事例を学びたい。
(介護事業所・ケアマネ)

研修目標

1 在宅・施設・病院での事例を通して、利用者（患者）の思いやACPの必要性を知る事ができる

（意見）

- ・介護に関しては施設に薬を届けるくらいでACPという言葉は初めて聞くくらいの勉強不足でした。
- ・ACPに関しまして言葉で聞いた事はあっても実際の例がなかなか思いつかなかったので、この研修会によって知識を深められる機会を提供して頂きありがとうございます。
- ・ACPについてきちんと勉強したことがありませんでしたが、具体的なケースを紹介いただき分かりやすく学ぶ事ができました。職場内で感想を共有し、参加できなかった職員にも自分の仕事の意義や何を指すのか等考えるきっかけ作りにします。
- ・今迄知らなかった事が多くありました。こういう機会がなければ判断に迷う事もあると思います。
- ・なかなか口にするのは難しい問題ですが、人生の締めくくりをどうしたいか家族に伝えたいと思いました。
- ・意思が変わったり、迷ったりすることは、自然な事だと思いました。そして、スキのように迷っている人に寄り添って一緒に考えることは患者さんにとって大変心強いことなのではないかと思いました。

2 研修にて、自職種を振り返り多職種と情報共有する事ができる

3 利用者（患者）の意思決定を支援するチームの一員として、明日からの働きを具体化できる

（意見）

- ・在宅介護の場面で利用者に対して、ACPを気軽に話し合えるようにしていきたいと考えています。
- ・医療者の立場から患者様に対応する限界とふみこんではいけない。寄り添う大切さとむずかしさをとても感じました
- ・病院の中でも、「受け入れが悪い患者」、「また方針が変わったの?」「在宅に帰ったのにまた戻ってきたの?」という発言はよくききます。「揺らぎを保障する」という概念はまだ浸透していないと実感しています。仲間を増やすこと、代弁できることを繰り返ししていきたいです。
- ・状況に変化が生じた際等、どう過ごしたいかなど思いは考えますが、現実的に現状を受け止めることができない場合など、色々な問題が生じ寄り添う事一緒に悩む事が重要と考えました。
- ・実際自分がこのようなケースに関わる事になった時には、できることは限られると

思うが、ご本人ご家族がしっかり決断できるように支援していきたいと感じた。

【今後も研修をする意義について】

（意見）

- 研修会の内容が社会に広く浸透される様、繰り返していくことが必要ではないかと感じた。
- 患者さん、自分や家族であった時の事を改めて考えました。
- 多職種の現場での実際を知ることができたので、非常に有意義な時間となりました。
- 訪問看護でのAYA世代の事例が拝聴していて状況がリアルに伝わってきて胸をうたれました。
- 少し前に4分割の話し合いに担当ケアマネジャーとして参加させてもらい、多職種の連携ということを初めて実感できました。「連携、連携」ということが何度も耳にしますが、介護の方には医療系の話は難しい事も多く、退院カンファレンスも家族が蚊帳の外という印象がありました。この研修会では先生たちの葛藤も見えより連携を深める重要性を感じました。
- 医師、看護師のお話を直接聞ける機会は貴重です。これからも、続けていただきたいです。

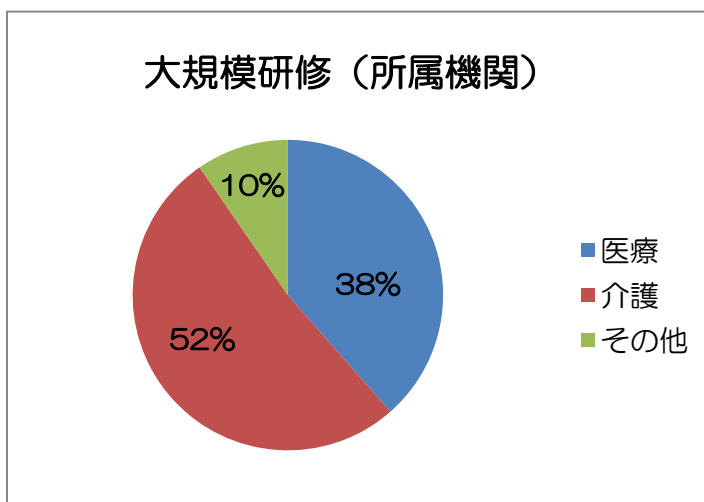
【アンケート分析・考察】

今年度の研修は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みウェブでの開催となった。当初、介護事業所の参加が少ないのではと懸念していたが、参加状況を見ると医療関係者38%、介護関係者52%(図1)であった。内訳として、包括15%、居宅28%、訪問系30%、施設系27%(図2・3・4)であった。学校の教員や学生の参加もあり、ウェブでの開催は多職種がまんべんなく参加して頂く為の方法としては有効と考える。しかし、参加申し込み200名の募集を行い、参加人数145名(当日不参加44名)であり、会場で申し込みの集まり方に比べると申し込み者数は少ない状況だった。当日参加していない方の中には、入室できなくて参加を断念した方(研修前のテスト日はやらなかったとの事)や入室したがネットワーク環境の為か強制退室に何度かなった方がいる等があった。今後ウェブでの研修を開催するにあたり、事前の使い方の説明を強化するなど、参加してもらえ工夫をしていく必要があると考える。

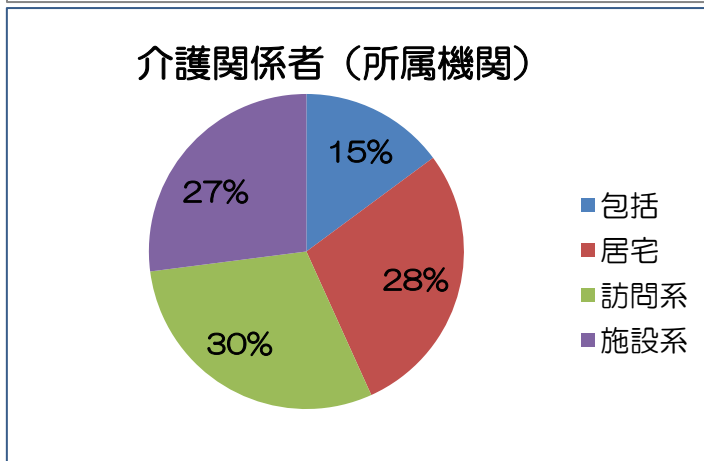
目標である「ACPを知ってもらおう」に関して、初めて聞いた言葉だったにも関わらず参加してくれた方や、事例を通して実感として理解できたという意見があり、目標に達する事ができたと考える。また、「明日からの働きを具体化できる」に関して、「ACPを気軽に話合えるようにしたい」、「仲間を増やすこと、代弁できることを繰り返していきたい」などの意見があり、具体化する事の目標に達する事ができたと考える。講師の方々には事例を用いて、より具体的に講演をして頂き、それをふまえ

でのディスカッションを行った。特に先生からの事例で葛藤している事の話について、介護関係者から「介護の方には医療系の話は難しい事も多く、退院カンファレンスも家族が蚊帳の外という印象がありました。この研修会では先生たちの葛藤も見え、より連携を深める重要性を感じました。」などの意見があり、相互理解する事で連携を深める事ができる事を感じた。希望する研修について、事例検討をしたいとの意見が多かった。多職種での研修として、より具体的に考える事ができるよう事例を用い、相互理解を深めるためのディスカッションもしくはグループワークが必要と考えた。

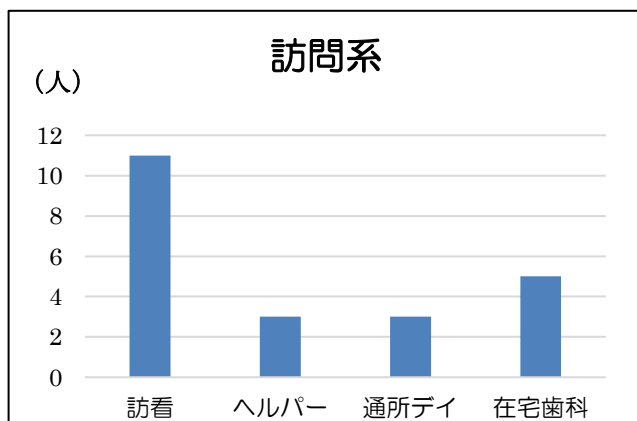
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

